

乳児期でも経験できる充実した特別教育プログラム

特別教育プログラム



～その体験が子どもの遊びの発想や未来へつながる～



「こころの花」ほいくえんレイクタウン駅

特別教育プログラム



理事長 菊地政隆

みなさんこんにちは!学校法人菊地学園理事長の菊地政隆です。

当園は、学校法人が運営する保育園として「ここで過ごした全員が幸せになってほしいそれが私たちの願いです。」という理念のもと、子どもたちが人生を豊かに歩んでいけるように特別教育プログラムを1歳児クラスから導入しています。

特別教育プログラム

とは

【遊びの中で学ぶ】体験プログラム

菊地学園しらこぼと幼稚園で実施している教育プログラムのノウハウを活かし、乳児期の成長に合わせた独自のカリキュラムを実施しています。子どもは【遊ぶことが仕事】。大人の都合で物事をさせるのではなく、子どものやる気をまずは一番に。



【運動】

◆ラビッツスポーツクラブ

【菊地グループ運動専門講師】

楽しみながら運動する

子どもたちにとって慣れない動きを伴う運動は難しく、場合によっては苦手意識を強くすることもあります。初めて出会った運動が好きになってもらい前向きな姿勢で挑戦してもらえよう。工夫をした指導を行い、出来なかったことが出来るようになる感動と達成感を味わう特別な体験を子どもたちに届けたいです。

「考える」を学べる

子どもたちにはただ教えたことをやるだけではなく学ぶべきようになるのが、何ができない原因なのかなど考える力を養えるよう寄り添い自分なりの方法やプロセスが見つけれられるよう、指導員がしっかりとサポートしていきます。



【体操】

◆森 麻美

キッズと親子の体操教室「AMINASTIC」代表
たいそうインストラクター チャイルドカウンセラー
アスク・ミュージック所属

「身体を動かす楽しさを、多くの子どもに体感してもらいたい!」「将来、健康に生活するための基礎体力づくり、心づくりを応援したい!」そんな思いでスタートした体操教室です。全身運動から指先まで、身体を巧みに動かしながら危機回避能力(自分の身を守る能力のこと)を養い、笑顔あふれる空間の中で体力作りが出来るように心掛けています。また、小さな成功体験の積み重ねから自信が生まれ、次の活動意欲が高まるように配慮しながら、自分で考える事の楽しさ、仲間と身体を動かす面白さを体験できる場になるように努めています。



【音楽】

◆ちっくん&ひろや

ドラマー兼パーカッションist

乳幼児は大人に比べて自律神経が発達しないため、ストレスや不安ですぐに乱れてしまいます。

自律神経が乱れてしまうと、夜泣きや寝つきの悪さ・眠りの浅さに繋がります。リラックスできる音楽や、好き・楽しいと思える音楽は、自律神経を整え、ストレスや不安の軽減につながります。

様々な楽器に触れながら子どもたちの楽しいやってみたいと思う気持ちを大切にしています。



◆坂巻 武司

現「この花」ほいえん南流山駅前 園長

【絵画造形】

幼稚園教諭として20年間の勤務、たくさんの子どもたちと絵を描く事や製作を通して創造することの面白さや様々な素材に触れる喜びを伝えるとともに、自分自身もその面白さを実感してきました。特別教育プログラムの「絵画造形」では、子どもたちと一緒に自らの手で表現することの楽しさや、正解のない自由な発想を実感できる経験を積み重ねながら乳児期の子どもたちの「やってみたい」という気持ちの芽生えを大切にしています。



名: 坂巻 武司

子どもたちがこれからの人生を

豊かに歩んでいけるように



「こころの花」ほいくえんレイクタウン駅